



施術前

施術中



施術後

#### 4) 56歳 男性 左頬 脂漏性角化症

最初はエルビウムヤグレーザーで焼灼しましたが、思うように削ることができませんでした。しびれを切らし、サージトロンに切り替え、ループ電極で削り取るように操作しました。術後の経過も大変良好です。



施術前

施術後

#### 5) 64歳 女性 下口唇 静脈湖

血管拡張性肉芽腫、静脈湖などの血管性病変は、経験的にサージトロンでの治療経過がよいように感じます。血管病変は腫瘍の中央に太い血管があるので、病変に針電極を挿入して、サージトロンでメインの血管を中心に焼灼破壊することは、理にかなっていると思います。局麻後、血液成分を吸引して、針電極

を挿入、凝固モードで口唇が白色に変性するまで通電するのがコツです。



施術前

施術中



施術後

### ■ 結語

比較的大きな皮膚腫瘍、病理組織検査に提出したい皮膚腫瘍はサージトロンがとても有用です。経験的に血管性病変も経過がよいです。眼瞼手術など清潔操作が必要な手術もハンドピースが滅菌できるサージトロンが優れていると考えます。

今後も症例を積み重ね、サージトロンによる治療が臨床的に優れている疾患についてさらに検討していきたいです

### 【筆者略歴】

- 1994年 岡山大学医学部 卒業  
社会保険中京病院、虎の門病院にて  
研修
- 2000年 名古屋大学医学部附属病院皮膚科  
助手
- 2004年 名古屋大学医学部附属病院皮膚科  
講師
- 2008年5月 SSクリニック 開院